作成日: 2000年01月25日
改訂日: 2016年06月08日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
製品名称 : セメダイン　540
製品番号(SDS NO) : GJ0430-10

供給者情報詳細
供給者 : セメダイン株式会社
住所 : 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
担当部署 : 環境安全衛生部
電話番号 : 03-6421-7413
FAX : 03-6421-7416
緊急連絡先電話 : 03-6421-7413

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体:区分 2

健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2
皮膚感作性:区分 1
生殖毒性:区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

環境有害性
水生環境有害性(急性):区分 3
水生環境有害性(長期間):区分 3

(注)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語:危険

危険有害性情報
引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

有害性
有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :

混合物

化学的特定名 : ニトリルゴム系接着剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
ニトリルゴム	10-20	非公開/未登録	非公開/未登録
フェノール樹脂	1-10	非公開/未登録	非公開/未登録
アセトン	60-70	67-64-1	(2)-542
酸化亜鉛	1-5	1314-13-2	(1)-561

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

アセトン , 酸化亜鉛

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

アセトン , 酸化亜鉛

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

防火服/防炎服/耐火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
皮膚に触れたり眼に入らないように，不浸透性手袋などの保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

（火災・爆発の防止）

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
直射日光を避け容器を密閉し5から35℃で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(アセトン)

作業環境評価基準(2004) <= 500 ppm

許容濃度

(酸化亜鉛)

日本産衛学会(1969) 検討中 (ヒューム)

(アセトン)

日本産衛学会(1972) 200ppm; 470mg/m3

(酸化亜鉛)

ACGIH(2001) TWA: 2mg/m3(R)

STEL: 10mg/m3(R) (金属ヒューム熱)

(アセトン)

ACGIH(2014) TWA: 250ppm

STEL: 500ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経損傷)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状 : 液体

色 : 茶褐色

臭い : 溶剤臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 : 56(アセトン)℃

引火点 :(アセトン)-18℃

自然発火温度 : 465 C℃

爆発特性 : 引火又は爆発範囲

下限 : 2.1(アセトン)vol %

上限 : 13(アセトン)vol %

蒸気圧 : 24(アセトン)kPa

比重/密度: 0.9g/cm3

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

労働基準法:疾病化学物質

アセトン

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化亜鉛)

ラビット　no dermal reactions (EU-RAR, 2004)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化亜鉛)

ラビット　no/slight irritant (EU-RAR, 2004)

(アセトン)

角膜上皮の破壊4から6日で回復 (SIDS, 1999)

感作性データなし

発がん性

(アセトン)

ACGIH-A4(2014) : ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(アセトン) cat.2; EHC 207, 1998

(酸化亜鉛) cat.2; rat : EU-RAR, 2004

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(酸化亜鉛) 呼吸器、全身毒性 (NITE, 2008; ACGIH, 2003)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン) 気道刺激性 (ACGIH, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン) 麻酔作用 (ACGIH, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(アセトン) 血液 (ACGIH, 2001)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性（急性） 成分データ

[日本公表根拠データ]

（酸化亜鉛）

甲殻類（オオミジンコ） LC50=0.098mg_Zn/L/48hr （NITE初期リスク評価書, 2008）

（アセトン）

魚類（ファットヘッドミノー） LC50 > 100mg/L/96hr （EHC207, 1998）

水生毒性（長期間） 成分データ

[日本公表根拠データ]

（酸化亜鉛）

藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）NOEC=0.024mg_Zn/L/72hr （0.0299mg_ZnO/L/72hr）（EU-RAR, 2010）

水溶解度

（酸化亜鉛）

溶けない (ICSC, 2004)

（アセトン）

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

（アセトン）

log Pow=-0.24 (ICSC, 2009)

（酸化亜鉛）

BCF=217 (Check & Review, Japan)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1133

品名（国連輸送名） :

接着剤、引火性液体含有

国連分類（輸送における危険有害性クラス） : 3

容器等級 : II

指針番号 : 128

特別規定番号 : A3

MARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

アセトン

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

アセトン

名称表示危険/有害物(令18条)

アセトン; 酸化亜鉛

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物 (-30℃ <= 引火点 < 0℃)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

アセトン; 酸化亜鉛

消防法

第4類 引火性液体第1石油類水溶性液体 危険等級 II

化審法

優先評価化学物質

アセトン

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

酸化亜鉛

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

水質汚濁防止法

指定物質

酸化亜鉛

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準: JIS A5549認証品

JIS認証番号: CE0308027 F☆☆☆☆

4VOC基準:(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のためのVOC(揮発性物質)自主管理規定

4VOC基準適合 JAIA 401501

問合せ先 (http://www.jaia.gr.jp)

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php

JIS Z 7253 (2012年)

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

十分な情報が得られなかった成分については、全ての項目を分類できないとしております。

2016年6月1日改正の労働安全衛生法に則して作成されたものです。ただし、有害性情報につきましては、現時点における弊社の最善の知識をもって、通常可能な範囲で調査した結果に基づくものです。

2016年6月1日以降、変更の可能性がある場合には、最新の情報に基づき作成する予定にしております。

[会社情報]

販売者：(株)トヨナガ
所在地：群馬県安中市板鼻185-1
TEL:027-381-1455